

○ | 工 事 概 要

項 目

特 記 事 項

▶ 1. 工事種目

名 称	新 設	改 修	摘 要
空気調和設備工事	● 一式	○ 一式	
暖 房 設 備 工 事	○ 一式	○ 一式	
冷 房 設 備 工 事	○ 一式	○ 一式	
換 気 設 備 工 事	● 一式	○ 一式	
排 煙 設 備 工 事	○ 一式	○ 一式	
給 油 設 備 工 事	● 一式	○ 一式	
自動制御設備工事	○ 一式	○ 一式	
屋外給水設備工事	● 一式	○ 一式	
屋内給水設備工事	● 一式	○ 一式	
屋外排水設備工事	● 一式	○ 一式	
屋内排水設備工事	● 一式	○ 一式	
屋内給湯設備工事	● 一式	○ 一式	
衛生器具設備工事	● 一式	○ 一式	
消 火 設 備 工 事	○ 一式	○ 一式	
屋外ガス設備工事	● 一式	○ 一式	
屋内ガス設備工事	● 一式	○ 一式	
	○ 一式	○ 一式	
	○ 一式	○ 一式	
	○ 一式	○ 一式	

※ 種目は●印を付したものを適用する
※ 空気調和設備工事とは、空調機等を設置し暖冷房を行う工事という
※ 暖房設備工事とは、直暖や個別暖房のみの工事という
※ 冷房設備工事とは、個別冷房のみの工事という

○ | 機 械 設 備 共 通 事 項

項 目

特 記 事 項

▶ 1. 配管

1) 配管材料

管 種	冷温水	冷却水	蒸気	温水	給油	冷媒	給水	給湯	排水	通気	消火	ガス	雨水
○ 配管用炭素鋼鋼管(白)													
○ " (黒)													
○ 圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)													
○ 塩ビライニング鋼管(VA)													
● " (VB)							●						
○ 排水用塩ビライニング鋼管													
○ 耐熱性塩ビライニング鋼管													
● 外面被覆鋼管							●						
○ ナイロンコーティング鋼管													
○ ステンレス鋼管													
○ 鋼管(M)													
○ 保温付被覆鋼管													
○ 被覆鋼管													
● ビニル管(VP)											●		
● " (VU)											●		

管 種	施 工 区 分												
	冷温水	冷却水	蒸気	温水	給油	冷媒	給水	給湯	排水	通気	消火	ガス	雨水
● 樹脂管							●	●	●				
○ 耐火二層管													
○ ポリエチレン管													
○ 合成樹脂製可とう電線管													
○ 鉛管													
○ コンクリート管													
○ 鑄鉄管													
● 耐熱ビニル管(HTVP)									●				
○													
○													
○													
○													
○													

2) 弁類

3) 試験

4) ねじ加工

5) ステンレス鋼管継手の種類

6) 埋設配管

7) 溶接部の検査

8) 配管洗浄

▶ 2. 保温

1) 配管

※ 該当項目に●印をつける。
2列書きになっている部分は左側屋外配管、右側屋内配管とする
水道直圧及び高置タンクまでは1Mpaとし、他は各種配管の水圧検査圧力値を超える最高許容圧力を有するバルブとする
配管途中若しくは隠ぺい、埋戻し前又は配管完了後の塗装又は被覆施工前に行う
圧力値、保持時間は、標準仕様書第2編 2.9.2から2.9.5による
試験終了後、報告書を工事監督員に提出すること

○ 転造ねじ加工 (蒸気還水管)

種 類	冷温水	冷却水	温水	給水	給湯	消火	備 考
○ プレス							ダブルプレス
○ 拡管式							
○ 溶接							
○ ハウジング継手							

防食処理 ● 土中
○ ペトロラタム系防食テープ ()
○ ブチルゴム系絶縁テープ ()
○ コンクリート内
● プラスチックテープ ()
地中埋設標・埋設表示テープ・屋外配管埋設深さ

	地中埋設標	埋設表示テープ	屋外配管埋設深さ		
			車両道路	道路以外	凍結深度
給水配管	● 要 ○ 不要	● 要 ○ 不要	GL- m以上	GL-0.8m以上	GL-0.8m以上
ガス配管	○ 要 ● 不要	○ 要 ● 不要	GL-0.6m以上	GL-0.3m以上	
油 配 管	○ 要 ● 不要	○ 要 ● 不要	GL-0.6m以上	GL-0.3m以上	

要の場合、地中埋設標は図示する箇所、埋設表示テープは屋外埋設配管部分に適用する

○ 目視検査 ○ 非破壊検査 (溶接部の種類 :)
(検査の種類 :)
(配管種別 :)
(使用圧力 :)
(抜き取り率 :)

詳細は標準仕様書の当該事項による
○ 冷温水管 ● 給水管 (● 1次側 ● 2次側)
○ 冷却水管 ● 給湯管 ○ 受水タンク ○ 高置タンク
○ 貯湯タンク ○ 給湯用膨張タンク
高周波洗浄もしくは同等以上の方法による
飲料水管の場合は、端末において遊離残留塩素が0.2mg/L以上検出されるまで消毒を行う

標準仕様書第2編3.1.4及び5のうち保温材及び外装材は次による
断熱材は、特定フロン、代替フロン等、オゾン層を破壊する物質を含有していないこと

保温材 ● グラスウール ()
○ ロックウール ()
● ポリスチレンフォーム ()

外装材 ｲ) 屋内露出
● 合成樹脂製カバー ()
○ アルミガラスクロス ()

2) バルブ等

3) ダクト

3) 機器類

保留!

4) 冷媒被覆銅管

5) 煙道排気筒

6) 消音内貼り

▶ 3. 塗装

○ その他 () ()
㊦) 機械室・書庫・倉庫
○ アルミガラスクロス ()
○ その他 () ()
㊦) 天井内・パイプシャフト内及び空隙壁中
● アルミガラスクロス ()
○ その他 () ()
ㄱ) 床下・暗渠内
● 着色アルミガラスクロス ()
○ アルマット ()
○ 保温なし ()
○ その他 () ()
ㄴ) その他
○ その他 () ()
○ その他 () ()
○ その他 () ()
○ その他 () ()
○ その他 () ()
保温材 ● グラスウール ()
○ ロックウール ()
○ ポリスチレンフォーム ()
○ その他 () ()
外装材 ○ ステンレス鋼板 ()
○ 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 ()
○ カラー亜鉛鉄板 ()
● その他 (合成樹脂製カバー) ()
外気取入用ダクト及び排気用ダクトは保温を行う

保温材 ● グラスウール ()
○ ロックウール ()
○ ポリスチレンフォーム ()
○ その他 () ()
外装材 ｲ) 屋内露出
○ 合成樹脂製カバー ○ カラー亜鉛鉄板
○ 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 ○ ステンレス鋼板
● アルミガラスクロス ○ その他 ()
㊦) 機械室・書庫・倉庫
○ アルミガラスクロス ○ カラー亜鉛鉄板
○ 溶融アルミニウム亜鉛鉄板 ○ ステンレス鋼板
○ 合成樹脂製カバー ○ その他 ()
㊦) 天井内・パイプシャフト内及び空隙壁中
● アルミガラスクロス
○ その他 () ()
ㄱ) 外気取入用ダクト及び排気用ダクト
● アルミガラスクロス
○ その他 () ()
範囲 ｲ) 外気取入用ダクト ・ 全て
㊦) 排気用ダクト ● 全て
○ その他 (外壁より1.5m以内)
㊦) その他
○ その他 () ()
○ その他 () ()
○ その他 () ()
○ その他 () ()
○ 冷温水ヘッダー ○ 冷水ヘッダー ○ 冷温水タンク
○ 冷水タンク ○ 温水タンク ○ 蒸気ヘッダー
○ 温水ヘッダー ○ 熱交換器 ○ 還水タンク
○ 膨張タンク
保温材 ○ グラスウール ○ ロックウール
○ その他 ()
外装材 ● カラー亜鉛鉄板 ○ 溶融アルミニウム亜鉛鉄板
○ ステンレス鋼板 ○ その他 ()
液管 ガス管 結露の恐れあり ()
被覆厚
保温材 ● ロックウール ○ その他 ()
外装材 ● カラー亜鉛鉄板 ○ 溶融アルミニウム亜鉛鉄板
○ ステンレス鋼板 ○ その他 ()
施工方法は標準仕様書の当該事項による
施工箇所は図示したダクト及びチャンパー類とする
使用材料 ○ グラスウール ○ その他 ()
厚さ ○ 25mm ○ 50mm
消音内貼りチャンパーの寸法は外法寸法とする
ラス押え ○ 有 () ○ 無
イ、屋内露出は、室内環境対応・配慮形塗料又は水性系塗料の合成樹脂調合ペイントとする。
但し煙道、煙突は耐熱塗装とする。

設計者に照会して確認・取用を禁ずる
drawing title 設備工事特記仕様書(1)
scale non drawn 富樫雅行
original size A3 date 2025.03.06 drawing NO. M-01

4. ダクト及びダクト付属品

1) ダクト

2) チャンバー等

3) 防雪フード

4) 排気フード

5) セルフード

6) 風量測定口

5. 制気口

1) 吹出口・吸込口

6. 貫通部の処理

1) 穴埋補修

2) 防火区画の処理

7. 吊り及び支持

8. スリーブ

9. はつり及び穴あけ
(改修工事等)

10. インサート
及びアンカー

ロ. 裸管

○ 合成樹脂調合ペイント ○ アルミニウムペイント
・蒸気管 機械室内は、アルミニウムペイント
居室及び隠ぺいは、さび止めペイント

ハ. 支持金物及び架台類

● 合成樹脂調合ペイント ○ アルミニウムペイント

ニ. ダクト

* 合成樹脂調合ペイント

ホ. その他

○ アルミニウムペイント ○ 調合ペイント

方式

○ 低圧 ○ 高圧1 ○ 高圧2
● その他(継手、コーキング、ビス)

工法

○ アングルフランジ ()
○ コーナーボルト ()
(○ 共板フランジ ○ スライドオンフランジ)

種別

○ 鉄板 ()
● スパイラルダクト ()
○ 硬質塩化ビニル管(VU) ()
○ 矩形(アングルダクト工法) ()
○ その他 ()

イ. 外壁に面するガラリに直接取付けるチャンバー、ホッパーには排水を設ける

ロ. シーリングディフューザーには下記の接続ボックスを設ける

イ) ネック径200φ以下 : 400×400×250H

ロ) " 200φをこえるもの : 500×500×300H

ハ. 線状吹出口には、下記の接続ボックスボックスを設ける

イ) BL-S、BL-D : 200×(長さ+100)×300H

ロ) BL-T、BL-K : 250×(長さ+100)×300H

ニ. 天井付制気口には、特記なき場合(制気口寸法+100)×250Hの接続ボックスを設ける

イ. 材質

ステンレス鋼板製 ○ SUS430
○ SUS304
○ その他()

ロ. 板厚 () mm

イ. 幕板

○ 本工事 ○ ステンレス鋼板製 ○ SUS430
○ SUS304
○ () mm

○ 別途工事

○ 丸形フード ● 防風形フード ○ その他()

材質

● ステンレス製
○ アルミニウム製
○ その他()

取付箇所

1. 特記した風量調整ダンパーの上流又は下流
2. 送排風機、空調機に近接した風道の部分
3. 外気取入風道の部分
4. その他指定部分

材質

● 樹脂製()
○ 鋼板製
○ アルミニウム材質
○ その他()

穴埋補修は無収縮モルタル又はロックウール保温材で補修する
なお、ロックウール保温材の場合は脱着防止の措置を施す

イ. 不燃材料の配管で貫通する場合は、その隙間をモルタル又はロックウール保温材で埋める

ロ. 不燃材料以外の配管で貫通する場合は、建築基準法令に適合する工法とする

ハ. スパンドレイルについてセルフードは抵触しない事

イ. インサート金物は、吊りボルトに対し、適正なサイズのものを選定する

ロ. 断熱材使用箇所におけるインサート金物は、断熱インサート金物とする

ハ. 吊り用ボルトは、ピット内及び床下は被覆全ねじ又は丸鋼とする

イ. 標準仕様書(第2編 第2章の2.2.27)による

ロ. 外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブ

※つば付き鋼管スリーブ

○ 非加硫ブチルゴム系止水材(使用部位:)

既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴あけは、原則として、ダイヤモンドカッターによる

口径は、原則として管の外径(保温されるものにあつては保温材の厚さを含む)より20mm程度大きなものとする

改修工事において、既存のインサート及びアンカーボルトは、原則として、使用しない。やむを得ず既存のインサート及びアンカーを再使用する場合は、状態及び強度を確認し、十分に清掃を行ってから使用する。

11. 耐震措置

また、引張強度の確認試験については、工事監督員と協議する

機器の固定

アンカーの耐震計算を行う機器等

* 工事監督員と協議する

○ 無し

確認試験

イ. あと施工アンカーの性能確認試験 ○ 行う * 行わない

ロ. あと施工アンカーの施工後確認試験

* 行う 確認強度は工事監督員と協議する

○ 行わない

「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(日本建築センター発行)及び「道有施設(建築物)の総合耐震計画基準及び同解説」に基づき、耐震施工を行う。

○ 一般の施設 ○ 特定の施設 ○ 甲類 ○ 乙類

(1) 局部震度法による建築設備機器(水槽類を除く)の設計用標準水平震度(Ks)

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)
1階及び	1.0	0.6	0.6	0.4
地下階	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)

(注)()内の数値は防振支持機器の場合に適用する

(2) 局部震度法による水槽類の設計用標準水平震度(Ks)

設置場所	耐震安全性の分類			
	特定の施設		一般の施設	
	重要水槽	一般水槽	重要水槽	一般水槽
上層階	2.0	1.5	1.5	1.0
屋上及び塔屋				
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
1階及び	1.5	1.0	1.0	0.6
地下階				

重要機器は、次のいずれかに該当するものをいう。また、一般機器とは重要機器以外をいう

イ. 災害応急対策活動に必要な施設等において、施設目的に応じた活動を行うために必要な設備機器

ロ. 危険物を貯蔵又は使用する施設において、危険物による被害を防止するための設備機器

ハ. 避難、消火等の防災機能を果たす設備機器

ニ. 火災、水害、避難の障害等の二次災害を引き起こす恐れのある設備機器

ホ. その他これらに類する機器

重要水槽とは重要機器として扱う水槽類、一般水槽とは一般機器として扱う水槽類を示す

また、水槽類にはオイルタンク等を含む

● 風量調整 ● 水量調整 ○ 室内外空気の温度

○ 室内外空気の湿度 ○ 室内気流及びじんあいの測定

○ 騒音の測定 ● 飲料水の水質の測定

総合試運転調整完了後、機器等の運転状態の記録及び系統ごとに各測定結果をまとめた測定報告書を工事監督員に提出する

測定報告書には、測定器名、測定日時及び測定者名を記入し、測定点を示した図面を添付する

構内既存の施設 ○ 利用できる(* 有償 ○ 無償)

* 利用できない

構内既存の施設 ○ 利用できる(* 有償 ○ 無償)

* 利用できない

別契約の関係請負者の定置する足場、棧橋の類は、無償で使用できる

建設機械及び車両等の出入りの際には、出入口に交通誘導警備員を配置し、一般通行者及び一般車両の安全を確保すること

なお、配置位置及び交通誘導警備員の区分は、次による

配置位置: 図面による

警備員詰所: (○ 設ける ● 設けない)

表 工事現場の位置と交通誘導警備員区分

12. 総合試運転調整等

13. 仮設工事

1) 工事用水

2) 工事用電力

3) 足場

4) 交通誘導警備員

5) 指定仮設

14. 土工事

1) 管周囲の保護

2) 埋戻し土

3) 建設発生土等の処理

4) 山留め施工

15. 地業工事

1) 砂利地業

16. コンクリート工事

1) コンクリート強度

17. 使用機材

○ 空気調和設備

項目

特記事項

1. エネルギー源

2. 空気調和方式

3. 暖房方式

4. 冷房方式

5. 主要熱源機器及び付属機器

6. ばい煙濃度計

7. 煤じん量測定口

8. 放熱器等

○ 重油 ○ 灯油 ○ ガス (都市ガスの場 ○ 低圧 ○ 中圧)

● 電気 ○ その他()

○ 全空気 ○ 空気一水 ○ 全水 ● 冷媒式

○ 蒸気 ○ 温水 ○ 温風 ● 電気 ○ 遠赤外線

○ 放射 ○ その他()

● 冷媒 ○ 冷水

図内機器表による 容量等の表示、機器類の能力、容量等(電動機出力は除く)は、原則として表示された数値以上とする

● 設けない ○ 設ける

● 設けない

○ 設ける (煙道直線部に100φ以上のフランジ蓋止とする)

種別 ○ 鋳鉄製放熱器 ○ パネルヒーター

○ ファンコイルユニット ○ ヒートポンプユニット

○ ファンコンベクター ○ ユニットヒーター

○ パッケージエアコン ○ FF暖房機

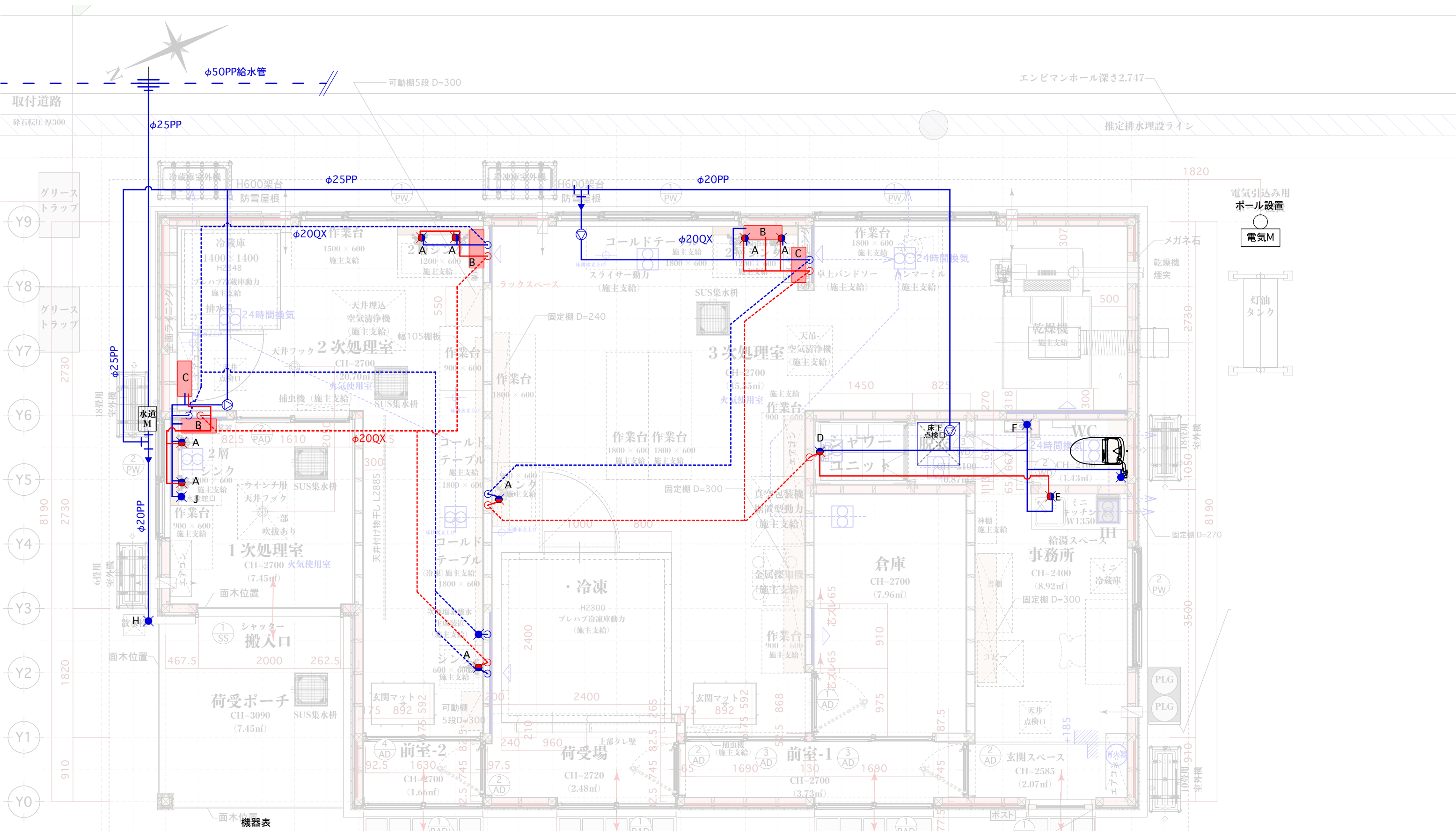
○ 電気ヒーター ○ 遠赤外線暖房機

○ コンベクター ○ ベースボードヒーター

○ 床暖房 (○ 温水 ○ 電気)

○ ロードヒーティング (○ 温水 ○ 電気)

○ その他()



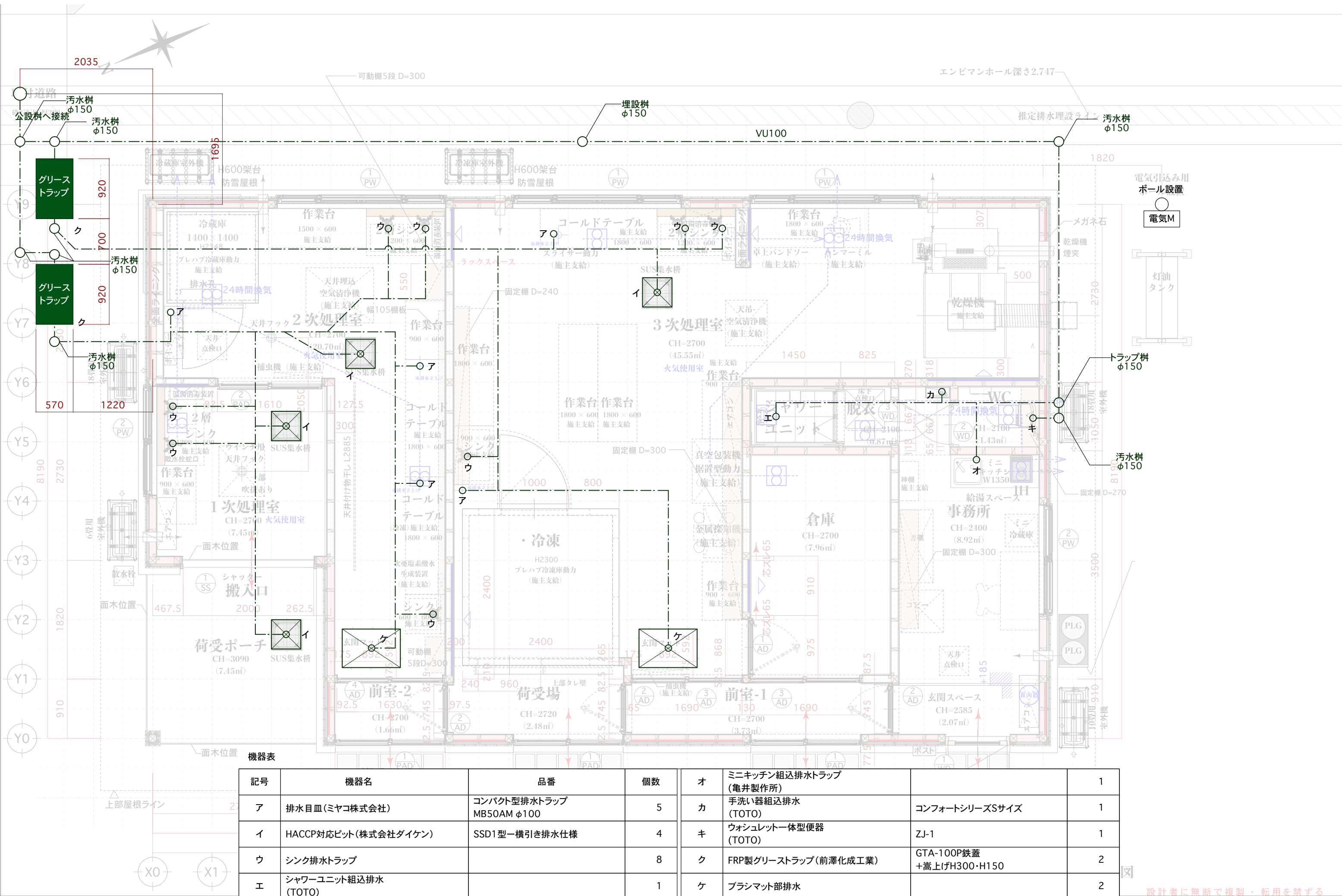
記号	機器名	品番	個数	E	ミニキッチン組込混合水栓 (亀井製作所)	KM5011ZTR20(KVK型)	1	J	ホース接続ノズル付給水栓(KVK)	K34SPJ	1
A	シングルレバー混合栓 壁出し (SANEI株式会社)	K17110EDK-13	8	F	手洗い器組込水栓 (TOTO)	コンフォートシリーズSサイズ	1		防寒器(光合金製作所)	水抜栓NE4 13mm×1000mm	3
B	電気温水器(日本イトミック)	EWS40CNN230CO	3	G	ウォシュレット一体型便器 (TOTO)	ZJ-1 手洗い付	1				
C	LPガス 給湯器(リンナイ)	GQ-3210WZ-FF-3	2	H	不凍水栓柱 (前澤化成工業株式会社)	F60MX1500CP	1				
D	シャワーユニット組込シャワー混合水栓 (TOTO)	VBV03433Z型壁付サーモ スタートシャワー金具 SSGFK	1	I	洗浄除菌水生成装置(コアテック)	コア・クリーン50C	1				

給水設備図 5-1 1階平面図

設計者に無断で複製・転用を禁ず

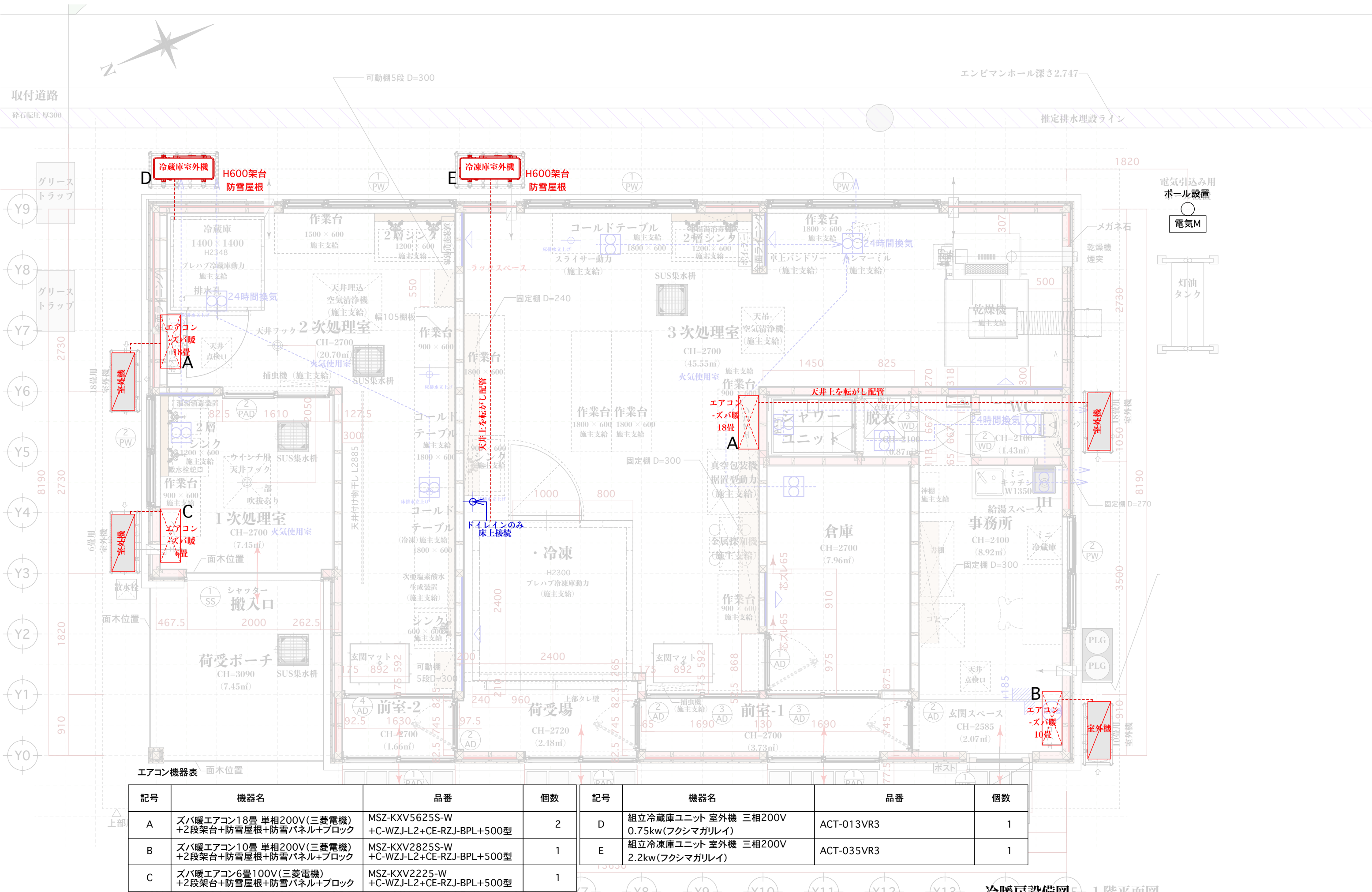
給水設備図5 1階平面図

設計者に無断で複製・転用を禁ずる



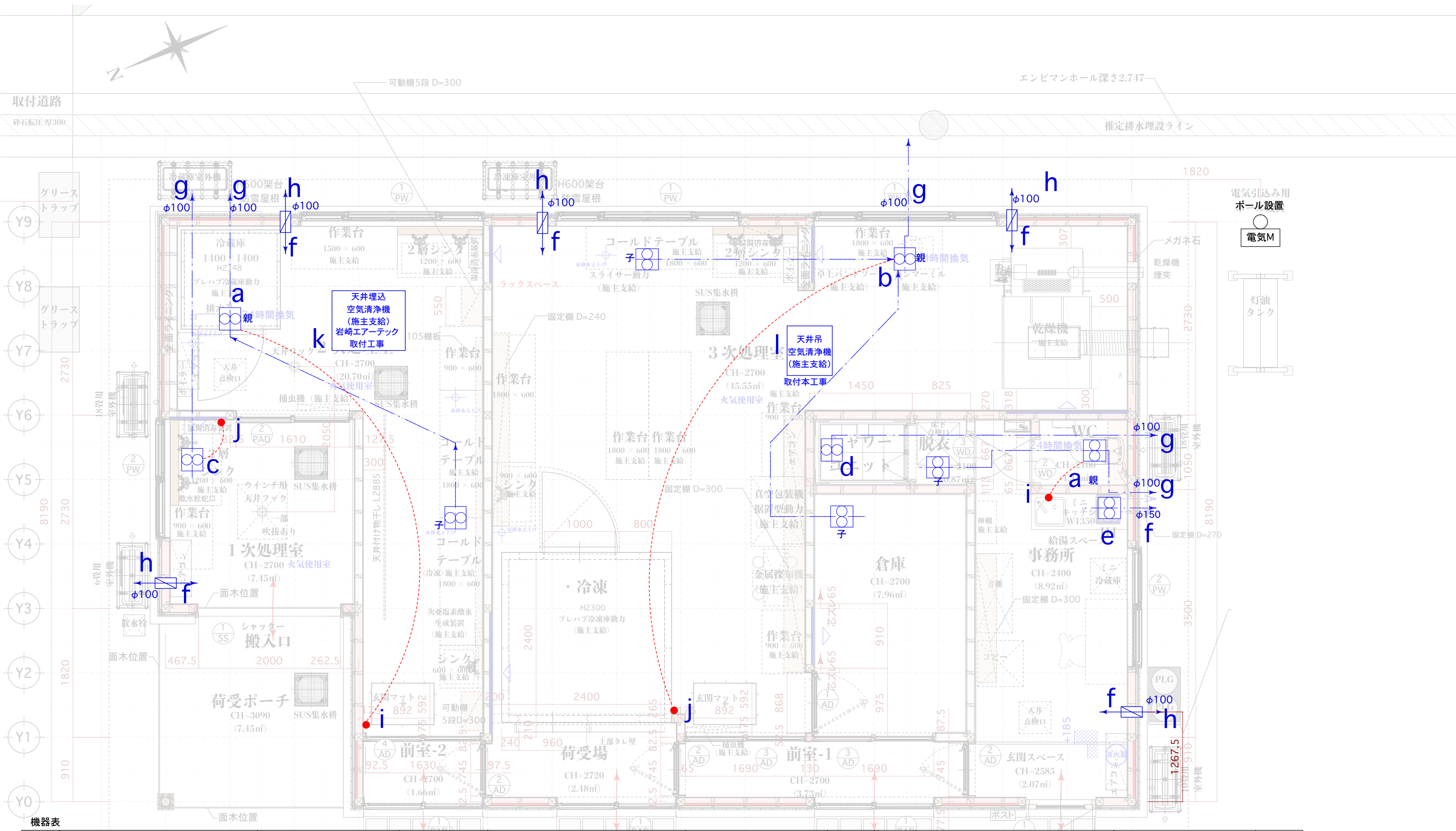
記号	機器名	品番	個数	オ	ミニキッチン組込排水トラップ (亀井製作所)		1
ア	排水目皿(ミヤコ株式会社)	コンパクト型排水トラップ MB50AM φ100	5	カ	手洗い器組込排水 (TOTO)	コンフォートシリーズSサイズ	1
イ	HACCP対応ビット(株式会社ダイケン)	SSD1型一横引き排水仕様	4	キ	ウォシュレット一体型便器 (TOTO)	ZJ-1	1
ウ	シンク排水トラップ		8	ク	FRP製グリーストラップ(前澤化成工業)	GTA-100P鉄蓋 +嵩上げH300・H150	2
エ	シャワーユニット組込排水 (TOTO)		1	ケ	ブラシマット部排水		2

設計者に無断で複製・転用を禁ずる



記号	機器名	品番	個数	記号	機器名	品番	個数
A	ズバ暖エアコン18畳 単相200V(三菱電機)+2段架台+防雪屋根+防雪パネル+ブロック	MSZ-KXV5625S-W +C-WZJ-L2+CE-RZJ-BPL+500型	2	D	組立冷凍庫ユニット 室外機 三相200V 0.75kw(フクシマガリレイ)	ACT-013VR3	1
B	ズバ暖エアコン10畳 単相200V(三菱電機)+2段架台+防雪屋根+防雪パネル+ブロック	MSZ-KXV2825S-W +C-WZJ-L2+CE-RZJ-BPL+500型	1	E	組立冷凍庫ユニット 室外機 三相200V 2.2kw(フクシマガリレイ)	ACT-035VR3	1
C	ズバ暖エアコン6畳100V(三菱電機)+2段架台+防雪屋根+防雪パネル+ブロック	MSZ-KXV2225S-W +C-WZJ-L2+CE-RZJ-BPL+500型	1				

冷暖房設備図5 1階平面図



機器表

記号	機器名	品番	個数	e	ミニキッチンレンジフード組込品φ150 コンパクト50(亀井製作所)	WAS-60AW (渡辺製作所) 前幕板H=300	1	j	コントロールスイッチ(三菱電機)	P-04SWL2	2
a	天井埋込形換気扇(2室)サニタリー用 グリルセットタイプ(三菱電機)φ100	VD-10ZFLC14	2	f	自然給気口 壁用 断熱密閉レジスター(パナソニック)	FY-GKF42G-(W)	5	k	天井埋込空気清浄機 (施主支給品)	SPACEEVOLUTION AT-210OUS	1
b	天井埋込形換気扇(3室)サニタリー用 グリルセットタイプ(三菱電機)φ100	VD-18ZFLC13	1	g	深型パイプフード(風圧式シャッター)φ100 (パナソニック)	FY-MSX043	5	l	天井吊空気清浄機(コアテック) (施主支給品)	コア・マイスター ホープ15HS	1
c	天井埋込形換気扇サニタリー用 グリルセットタイプ(三菱電機)φ100	VD-18ZLSC14-S	1	h	深型パイプフードφ100 (ガラリ付)(パナソニック)	FY-MFX043	5				
d	天井埋込形換気扇 シャワーブースφ100 組込品(TOTO) (100V 消費電力10W)	IKJC5	1	i	コントロールスイッチ(三菱電機)	P-04SWLB5	2				

給排気設備図 1階平面図

建設地: 木古内町新道42-26	project name. Sauvage Deux 新築工事	design. 合同会社 富樫雅行建築設計事務所 一級建築士事務所登録/北海道知事登録(渡)第641号 1級建築士登録/第320981 富樫雅行	〒040-0056 北海道函館市弥生町19-8 常盤坂 Tel & Fax .0138-87-1006 http://togashimasayuki.info	scale 1/50 original size A3	drawn 富樫雅行 date 2025.05.12	drawing title 給排気設備図 drawing NO. M-08
------------------	------------------------------------	---	--	--------------------------------------	-------------------------------------	--

設計者に無断で複製・転用を禁ずる